

令和6年度

事業概要

港湾局

目 次

I	港湾局の概要	1
II	組織と事務分掌	2
III	令和6年度 主要事業	3

港湾局の概要

1. 局長 長谷川 憲孝

2. 局の職員数 269人（令和6年4月19日現在）

3. 令和6年度予算の概要

（1）港湾事業会計 予算

①収益的収入及び支出 （単位：千円）

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 港湾管理事業収益	26,322,000	1 港湾管理事業費	25,511,000
2 港湾施設運営事業収益	2,689,000	2 港湾施設運営事業費	3,133,000
		3 予備費	50,000
収入合計	29,011,000	支出合計	28,694,000

②資本的収入及び支出 （単位：千円）

収入		支出	
款	金額	款	金額
1 資本的収入	54,766,552	1 資本的支出	63,595,283
収入合計	54,766,552	支出合計	63,595,283

（2）空港整備事業費 予算 （単位：千円）

歳入		歳出	
款	金額	款	金額
1 空港整備事業収入	17,922,978	1 空港整備事業費	17,922,978
歳入合計	17,922,978	歳出合計	17,922,978

（3）一般会計 予算 （単位：千円）

歳入		歳出	
款	金額	款	金額
17 使用料及手数料	5,847	9 土木費	3,281,722
18 国庫支出金	70,000		
24 諸収入	106		
25 市債	2,809,000		
歳入合計	2,884,953	歳出合計	3,281,722

経営企画課	工務課
(1)局所管事務の運営管理に係る総括調整に関すること。 (2)船員及び港湾労働者等の福利厚生に関すること。 (3)港湾環境整備負担金に関すること。 (4)港湾事業の料金制度に関すること。	(1)課及び海岸防災課の所管の工事等の施行手続に関すること。 (2)港湾施設及び海岸保全施設の維持保全及び工事並びにこれらに係る調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。
ウォーターフロント再開発推進課	海岸防災課
(1)ウォーターフロント（新港突堤西地区及び中突堤・高浜地区）の再開発に係る調査、企画及び調整に関すること。	(1)海岸保全区域の指定並びに海岸保全施設及び須磨海岸港湾施設の管理に関すること。 (2)須磨海水浴場の運営に関すること。 (3)海岸保全施設及び港湾施設の維持保全及び工事並びにこれらに係る調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。 (4)局の防災の総合調整及び水際対策に関すること。 (5)国際埠頭施設の保安対策に関すること。
空港調整課	
(1)神戸空港及び神戸空港島に係る調査、企画及び調整に関すること。 (2)神戸空港島における企業の誘致に関すること（他の所管に属するものを除く。）。	
空港整備課	
(1)神戸空港島の管理及び維持保全並びにこれらに係る調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。 (2)神戸空港及び神戸空港島の工事並びにこれらに係る調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。	
振興課	
(1)港湾のにぎわい創出、情報発信、国際業務、客船誘致その他港湾の振興に係る調査、企画及び調整に関すること。	
経営課	
(1)港湾施設の管理に係る調査、企画及び調整に関すること。 (2)港湾区域（港湾隣接地域を含む。）内の行為の規制及び臨港地区内の分区における構築物の規制に関すること（他の所管に属するものを除く。）。 (3)不動産の取得及び処分（他の所管に属するものを除く。）並びに取得に伴う損失補償に関すること。 (4)臨港地区における港湾産業に関すること。	
海務課	
(1)船舶の入出港に係る港湾施設の管理及び運用に関すること（他の所管に属するものを除く。）。 (2)船舶の入出港その他の動静管理に関すること。 (3)港湾区域内における船舶の安全及び利用に関すること。 (4)国際水域施設の保安対策に関すること。 (5)港務艇の運航（運搬給水を含む。）及び維持管理に関すること。	
神戸港管理事務所（2）	
(1)港湾施設及び普通財産の管理に関すること（他の所管に属するものを除く。）。 (2)船舶給水（運搬給水を除く。）に関すること。	
港湾計画課	
(1)港湾及び海岸の計画等に係る調査、企画及び調整に関すること（他の所管に属するものを除く。）。 (2)港湾の統計に係る調査及び解析に関すること。 (3)港湾手続及び港湾物流の情報化に関する情報処理に係る調査、企画及び調整に関すること。	
物流戦略課	
(1)船舶（客船を除く。）及び貨物の誘致に係る調査、企画及び調整に関すること。	

令和6年度港湾局予算概要

1. 港湾事業会計

(1) 国際コンテナ戦略港湾の推進

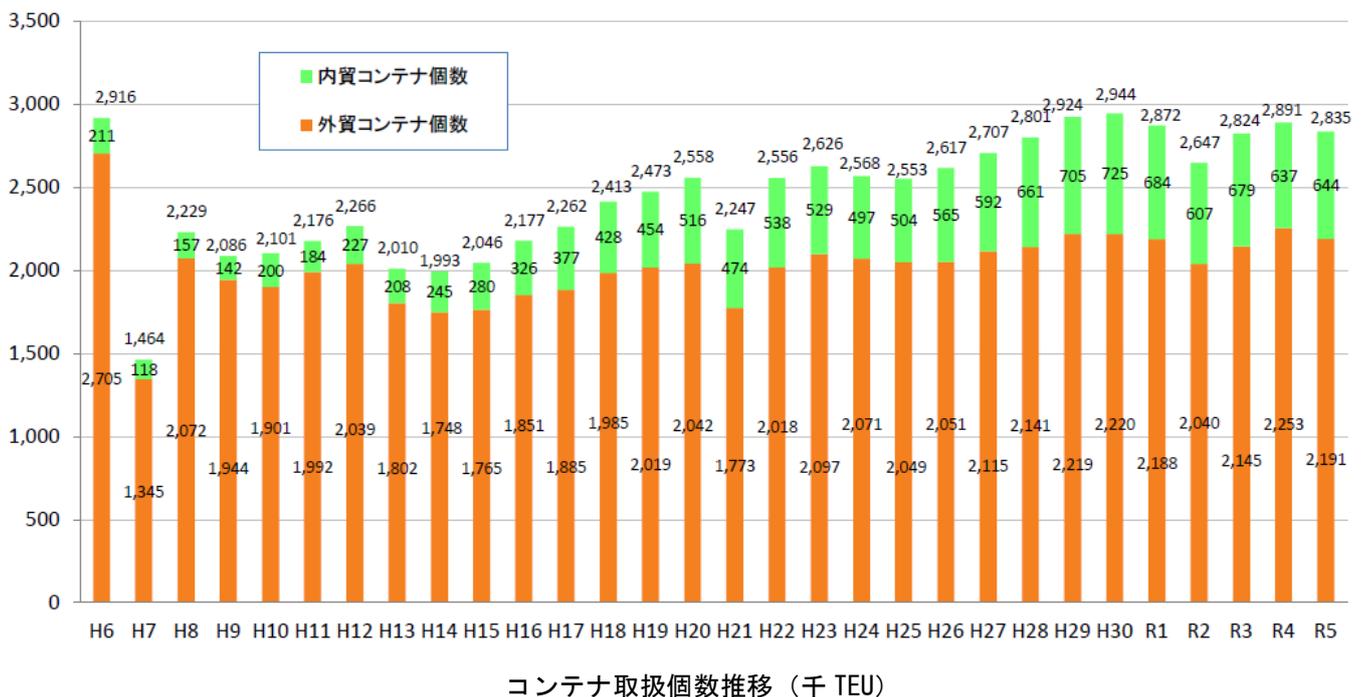
神戸港の港勢は、地政学リスクの高まりによる世界経済の先行き不透明感など予断を許さない状況であるが、引き続き、ハード・ソフト両面での国際コンテナ戦略港湾政策を展開することによって、神戸港のさらなる利用拡大を目指す。

① 神戸港への集貨（物流戦略課）

内航フィーダーを活用した瀬戸内・九州・日本海側からの集貨や東南アジアー北米間をはじめとする神戸港でのトランシップ貨物の集貨に取り組み、基幹航路の多方面・多頻度化など航路網の充実を図る。

また、総合港として神戸港の高い港湾技術力を発信しながら、コンテナ貨物に加え、在来貨物の集貨・航路誘致を積極的に進め、様々な貨物に対応できる神戸港のさらなる利便性向上に取り組むほか、脱炭素など環境に配慮した集貨の取り組みを進める。

- (R6年度事業)：
- ・ 阪神港貨物集貨促進事業
(内航フィーダーを活用した貨物集貨支援等)
 - ・ 港勢拡大促進事業
(新規航路開設やトランシップ貨物集貨支援等)
 - ・ 神戸港を活用した物流改善のトライアル事業
 - ・ 環境負荷の少ない輸送形態への転換に向けた支援事業
 - ・ 在来貨物集貨促進事業
(在来貨物集貨及び定期航路開設支援)



② 高規格コンテナターミナル等の整備による港湾機能の強化（港湾計画課、物流戦略課）

ポートアイランド（第2期）のコンテナターミナル（PC-13～17）の一体利用に向けた拡張・機能強化などの高規格コンテナターミナルの整備に加え、大阪湾岸道路西伸部の整備や新・港湾情報システム「CONPAS」の導入など港湾物流の円滑化による生産性の向上を図ることで、神戸港の国際競争力を強化する。

- （R6年度事業）：
- ・港湾直轄事業費負担金
（高規格コンテナターミナル整備、大阪湾岸道路西伸部の整備促進）
 - ・阪神国際港湾株式会社資金貸付事業（ヤード整備等）
 - ・新・港湾情報システム「CONPAS」導入（港湾エリアの混雑解消）

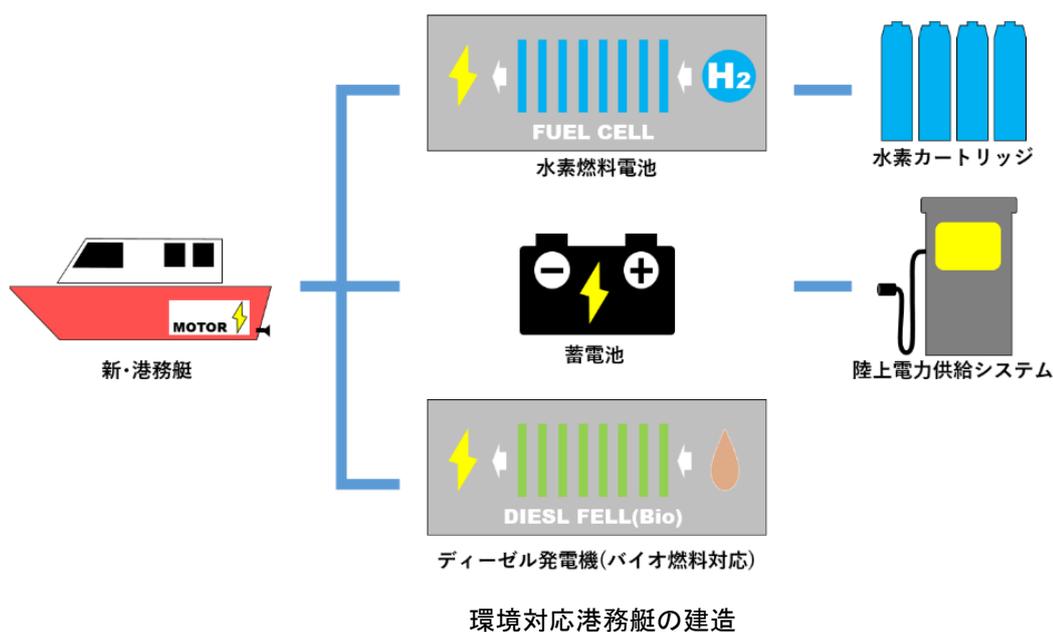
（2）カーボンニュートラルポートの形成

（空港整備課、振興課、海務課、港湾計画課、物流戦略課）

カーボンニュートラルポート（CNP）の形成を進めるため、水素燃料電池を搭載したハイブリッド型の港務艇の建造に着手するほか、民間事業者と連携し、水素を活用した次世代クリーンエネルギーの実証事業を神戸空港島で実施する。

また、連携協定（MOU）を締結したロングビーチ港など海外諸港と意見交換をしながら、コンテナターミナルの脱炭素化の取り組みを検討するほか、国際的なグリーンプログラムへ参加し、環境に配慮した船舶へのインセンティブ制度を拡充する。

- （R6年度事業）：
- ・環境対応港務艇の建造
 - ・次世代クリーンエネルギー活用実証事業
（メタネーション・水素パイプライン）
 - ・国際的なグリーンプログラムへの参加（入港料減免）
 - ・クルーズ船を対象とするグリーンプログラム検討
 - ・ブルーカーボンの推進



(3) ウォーターフロント再開発（ウォーターフロント再開発推進課、港湾計画課）

「神戸ウォーターフロントビジョン」に掲げる緑あふれる新たな「海辺」まちの創出を目指し、新港突堤西地区では、新港第2突堤の大規模多目的アリーナ開業（令和7年4月予定）に伴い、歩行者空間の整備に加え、民間活力を導入した緑地の整備や次期再開発用地を広場として暫定活用するなど、回遊性の向上と賑わいの創出を図る。また、第1・第2突堤間の水域活用の実現に向けて防波堤や親水エリアなどの整備を行う。

中突堤周辺地区では、神戸ポートタワーのリニューアルオープンにあわせ、中突堤中央ビル南館跡地を広場として暫定活用するとともに、周辺道路や緑地整備の検討を行うなど、観光・エントランスエリアの機能強化を図る。

これらの再開発に加えて、ハーバーランド～中突堤～新港突堤西地区を有機的につなぎウォーターフロントエリアの回遊性を高めるため、京橋地区において、阪神高速3号神戸線の大規模更新事業に合わせた高架道路周辺の利活用に向けた取り組みを進めるほか、新たな賑わいを創出するため、神戸第2地方合同庁舎別館の解体に着手する。

また、夜間景観の魅力向上を図るため、ウォーターフロントエリア一体で連動した光と音の景観演出を行う。

- (R6年度事業)：
- ・新港突堤西地区歩行者空間整備
 - ・新港第2突堤緑地整備
(港湾緑地の貸付（PPP事業）による賑わい施設整備等)
 - ・新港第1・第2突堤間の水域活用に向けた整備
 - ・中央ビル南館跡地広場暫定活用、北館解体、周辺道路・緑地整備検討
 - ・京橋地区の利活用に向けた取り組み
(船溜まり機能の再編、埋立の設計、第2地方合同庁舎別館解体)
 - ・夜間景観演出の連動システム整備



中突堤整備イメージ



第2突堤整備イメージ

(4) 市民に親しまれるみなとづくり

(ウォーターフロント再開発推進課、空港整備課、振興課、経営課、港湾計画課)

ウォーターフロントエリアにおけるナイトタイムエコノミーの推進のため、分散型花火イベント「みなと HANABI」に加え、年間を通じて週末に花火を打ち上げるほか、イルミネーションによる夜間景観形成など、新たな賑わいづくりに周辺の事業者と連携して取り組む。

海事分野の人材育成のため、神戸海洋博物館における企画展などの取り組みに加え、青少年が海・船・港に親しみ港湾産業の重要性を学ぶ機会づくりとして、学校教育・海技教育機構・遊覧船など港湾関係事業者と連携した取り組みを進める。特に進路を検討する中高生を対象とした海事産業への就職を支援する取り組みを強化していく。

また、港湾緑地の利便性・魅力向上のため、海釣り広場や親水空間を中心とした六甲マリンパークの再整備を引き続き進めるとともに、メリケンパークにおいて、ミストや日よけの設置をはじめとした夏期の異常高温対策に取り組むなど、居心地が良く日常的に賑わう空間づくりに取り組むほか、ポートアイランド（第2期）西緑地の活用を図るため、親水エリアの導入に向けた取り組みを行う。

- (R6年度事業)：
- ・メリケンパークの賑わいづくり
(花火・ライトフェスティバル「メヤメヤ」の開催)
 - ・神戸港バックヤードツアー・みなとの学習会の開催
 - ・神戸海洋博物館の管理運営
 - ・六甲マリンパーク再整備
 - ・メリケンパーク高温対策（ミストや日よけの設置・木陰拡大等）
 - ・ポートアイランド（第2期）西緑地の活用に向けた整備
 - ・神戸港震災メモリアルパーク展示改修
 - ・神戸空港島歩行者デッキ整備（基本検討）
 - ・神戸空港島を起点とする新たな海上航路の検討



マリンパーク再整備（イメージ）



ポートアイランド（第2期）西緑地整備（イメージ）



みなと HANABI



ライトフェスティバル

(5) クルーズ客船・フェリーの受入れによる地域活性化（振興課、物流戦略課）

国際クルーズの再開など寄港需要を捉え、港と空港が近い地理的優位性を生かしたフライ&クルーズを推進するとともに、プレミアム・ラグジュアリー船による瀬戸内クルーズをはじめとする神戸発着クルーズの誘致や誘客促進に取り組むことにより、広域からの交流人口の拡大を図る。

また、ドライバー不足に対応した輸送モードとして期待されるフェリーについて、旅客と取扱貨物量の増加に向けた支援に取り組み、フェリーの利用促進を図る。

- (R6年度事業)：
- ・魅力的な神戸発着クルーズの推進
(瀬戸内クルーズ・フライ&クルーズ)
 - ・おもてなし事業と寄港地観光の充実
 - ・フェリーの利用促進



中突堤旅客ターミナルに停泊するクルーズ客船

(6) 須磨海岸エリアの魅力向上（港湾計画課、海岸防災課）

須磨海浜水族園・海浜公園の全面開業にあわせ、隣接する須磨海岸においても、四季を通じて家族連れで行きたくなるような賑わいのある海岸づくりに取り組むほか、JR須磨駅と須磨海浜水族園を結ぶモビリティの導入など須磨海岸エリアの回遊性向上に向けた取り組みを行う。

また、須磨海岸エリアへの誘客を図るため、民間事業者等と連携した須磨と淡路島を結ぶ海上航路（スマアワ）の事業化を目指した実証運航を行う。

- (R6年度事業)：
- ・須磨海岸エリアの回遊性向上に向けた取り組み
(JR須磨駅と須磨海浜水族園を結ぶモビリティの導入等)
 - ・須磨と淡路島を結ぶ海上航路（スマアワ）実証事業
 - ・砂浜を活用したスポーツイベントの開催
 - ・JR須磨駅バリアフリー化検討

(7) 港湾労働者などの福祉の増進（経営企画課）

港湾労働者などの福祉の増進を図るため、港湾厚生施設の改修などに取り組む。

- (R6年度事業)：
- ・港湾厚生施設の改修
 - ・神戸港福利厚生施設「神戸ポートオアシス」等の管理運営

2. 空港整備事業費

(1) 神戸空港の機能強化（空港調整課、空港整備課）

神戸空港の航空需要の拡大をはかり、神戸のまちの成長・発展につながる取り組みを進める。具体的には、2025年の国際チャーター便の運用開始・国内線発着枠拡大に向け、空港基本施設や新ターミナルの整備など、神戸の空の玄関口にふさわしい施設整備を行うとともに、さらなる需要拡大を図るため、広域ネットワーク機能の強化など、神戸市以西の新たな市場開拓に取り組む。

また、神戸空港島の実証事業として生成される次世代クリーンエネルギー（e-メタン）を新ターミナルにおいて活用するなど、カーボンニュートラルエアポートの形成に向けた取り組みを進めていく。

- (R6年度事業)：
- ・ 空港基本施設整備（エプロン西側拡張）
 - ・ 新ターミナル整備
 - ・ 駐車場整備
 - ・ 保安検査機器等整備
 - ・ 広域ネットワーク機能の強化
 - ・ カーボンニュートラルエアポートの形成

(神戸空港の運用拡大)

	現状	2025年	2030年前後
運用時間	7:00～23:00		
発着枠 (1日最大)	国内 80回	国内 120回 国際チャーター便	160回 (国際 40回+国内 120回)



神戸空港新ターミナル（イメージ）

3. 一般会計（港湾局所管分）

（1）高潮・津波対策（海岸防災課）

近い将来、発生が想定される南海トラフ巨大地震に伴う津波や大型化する台風に伴う高潮に対し、市民の安全・安心を確保するとともに、災害に強い都市づくりのため、総合的な高潮・津波対策を進め、高潮対策は平成27年度、津波対策は令和4年度に完了した。

引き続き、迅速かつ安全に防潮鉄扉の閉鎖を行うため、遠隔操作化を進めるほか、老朽化対策による防潮堤の機能維持など防災機能の強化に取り組む。

① 防潮鉄扉等の遠隔操作化事業

発災後、短時間で到達する津波に対し、防潮鉄扉等を迅速・確実に閉鎖するとともに、閉鎖従事者のさらなる安全確保を目的に、防潮鉄扉等の閉鎖訓練を継続して実施する。さらに、防災機能の強化を目指し、平成30年度から令和6年度末までに全162基（うち企業活動に伴う閉鎖対象84基）のうち78基を目標に防潮鉄扉等の遠隔操作化に取り組んでおり、令和2年1月より一部運用を開始している。引き続き、令和6年度末の完了を目標に、遠隔操作化を進める。

② 海岸保全施設の老朽化対策

津波や高潮発生時における市民の安全を確保するため、老朽化した海岸保全施設の補修を実施し、施設の機能維持及び延命化に取り組む。

③ 神戸港高潮対策緊急事業

ポートアイランドにおいて、高潮発生時においても通行機能を確保するため、排水ポンプ整備や道路の嵩上げなどによる緊急輸送路の浸水対策に取り組むほか、六甲アイランドにおいても荷さばき地や背後道路の地盤嵩上げを進める。